



2022年11月4日

各位

会社名 株式会社 サンリオ
代表者名の代表取締役 辻 朋邦
役職氏名 社長
(コード番号 8136 東証プライム市場)
問合せ先 専務取締役 岸村 治良
電話番号 03 (3779) 8058

2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異及び 通期の連結業績予想の修正、並びに剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ

2022年8月2日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2023年3月期通期の連結業績予想並びに配当予想を下記の通り修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値との差異について (2022年4月1日から2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2022年8月2日公表)	27,800	3,300	3,500	1,300	16.13
実績値 (B)	30,630	5,346	5,608	3,010	37.37
増減額 (B-A)	2,830	2,046	2,108	1,710	
差額率 (%)	10.2	62.0	60.2	131.6	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半 期)	23,793	288	636	1,949	24.20

2. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正について (2022年4月1日から2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2022年8月2日公表)	57,400	4,700	5,200	2,500	31.02
今回修正予想 (B)	62,300	7,000	7,700	4,000	49.63
増減額 (B-A)	4,900	2,300	2,500	1,500	
差額率 (%)	8.5	48.9	48.1	60.0	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	52,763	2,537	3,318	3,423	42.49

3. 剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正について

当社は、2022年11月4日開催の取締役会において、剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正について決議いたしました。

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額 (2023年3月期 中間 配当)	直近の配当予想 (2022年8月2日)	前期実績 (2022年3月期 中間 配当)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	15円00銭	10円00銭	8円00銭
配当金総額	1,209百万円	—	644百万円
効力発生日	2022年11月22日	—	2021年11月22日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当予想の修正

2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）配当予想の修正

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年8月2日公表)	10円00銭	10円00銭	20円00銭
今回修正予想	—	15円00銭	30円00銭
当期実績	15円00銭	—	—
前期実績 (2022年3月期)	8円00銭	8円00銭	16円00銭

4. 差異及び修正の理由

(1) 第2四半期累計期間の連結業績予想と実績に差異が生じた理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、売上高は前回予想を公表した2022年8月2日以降も海外及び国内需要が想定以上に堅調に推移したことで、2,830百万円増加しました。営業利益は、増収に伴う増益と、中期経営計画に沿った構造改革の実行による売上原価率の低減、及び売上高販管費比率の適正化等により、2,046百万円増加しました。経常利益は、営業利益の増加等により、2,108百万円増加しました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加等により、1,710百万円の増加となりました。

(2) 通期連結業績予想の修正の理由

当連結会計期間におきまして、外部環境面で欧州における紛争の長期化、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響により先行きが不透明な状況が続いておりますが、第2四半期累計期間における連結業績が予想を上回る水準で着地したことを受け、通期連結業績予想に織り込むとともに、第3四半期連結会計期間以降におきましても業績が一定程度安定的に推移することが見込まれるため、通期連結業績予想を修正するものであります。

なお、通期連結業績予想の修正において営業利益7,000百万円を見込んでおり、中期経営計画の最終年度である2024年3月期の計画数値を上回る見込みです。

(3) 配当予想の修正の理由

当社は株主に対する利益還元を経営の重要事項と考えております。

第2四半期累計期間におきまして、連結業績が予想を上回る水準で着地し、3,010百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益を計上しました。また、通期におきまして業績予想を上方修正した結果、4,000百万円の親会社株主に帰属する当期純利益を計上する見込みとなりました。第2四半期末の配当に関しましては、前回予想の1株当たり10円から5円増配の1株当たり15円に、また、期

未配当に関しましては、前回予想の 1 株当たり 10 円から 5 円増配の 1 株当たり 15 円にそれぞれ修正させていただきます。これにより年間の 1 株当たり配当金は前回予想の 1 株当たり 20 円から 10 円増配の 1 株当たり 30 円となる予定です。

今後も株主に対する継続的な利益還元のため、業績向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上